

眼腫瘍専門施設要件

専用 URL よりアクセスしていただく「眼腫瘍専門施設申し込みフォーム」の入力の注意事項を記載いたします。

各項目に関して、参加の条件となる項目は◎、情報公開のみ求める項目は○とします（各項目の番号は、情報記入フォームの該当する番号を記載しています）。また、公開される情報に関して、各項目に下線で表しています。

各項目の記載内容に関しては、前回の情報を「がん情報サービス」にて公開しておりますので、ご参照ください。不明な点は国立がん研究センター内のがん対策情報センター、希少がん対策ワーキンググループ事務局までお問い合わせください。

1. ◎施設名－公開情報

2. ◎院内がん登録への参加－公開情報

症例数の客観的な集計のため、院内がん登録に参加していることが参加の必須要件です。

<症例数による規定>

自施設で 2016~18 年の 3 年間に最終ページに挙げる集計方法で、悪性眼腫瘍を 3 症例以上、診断あるいは治療した実績があることが必須要件です。 挙げられた悪性眼腫瘍のうち、ひとつでも条件が満たされていれば参加は可能です。

なお、3 年間で 3 例以上の悪性眼腫瘍の中には、眼瞼がん以外の悪性眼腫瘍、すなわち眼内腫瘍、角結膜腫瘍、眼窩腫瘍も最低 1 例は含まれていることが条件です（特に悪性リンパ腫が含まれていることが望ましい）。

3. ◎情報公開への同意

情報公開、および、外部データによる検証作業に同意・ご協力いただけることが参加の必須要件です。上記に同意・協力いただけるか否かをお答えください。

4-7. ◎眼腫瘍専門の医師の勤務－公開情報

眼科医、もしくは形成外科、耳鼻科、脳神経外科、皮膚科等で、眼腫瘍の診断もしくは治療が可能な医師が 1 名以上在籍していることが参加条件です。眼科医以外の場合は、連携する眼科医についてもご記載ください。常勤や非常勤といった勤務形態は問いません。医師の名前と診療科を記載してください。なお、診療科および医師に関する情報は公開します。

（氏名を掲載するので、各施設で掲載の同意書を同封ください。）

8-9. ◎眼腫瘍療の問い合わせ先－公開情報

医療連携室等の電話番号（ダイヤルイン＋内線）など、貴院への眼腫瘍診療の問い合わせに直接対応できる連絡先を記載してください（ただし、総合案内など一般的な案内窓口は避け、診療科長の個人名なども可能な限り避けてください）

10. ◎眼腫瘍の診断が可能な病理診断医の勤務

自施設で眼腫瘍の診断が可能な病理医 1 名以上勤務していることが参加の条件です。常勤や非常勤といった勤務形態は問いません。該当する病理医の氏名をご記載ください。氏名の公開はしませんが、勤務実態を確認する場合があります。

11-68. ◎実施可能な診断・治療と診断に関して一公開情報

自施設で実施が可能な診断・治療を選択してください。不可のものは、情報公開時には空欄で表示されます。また、手術、化学療法、放射線治療以外に自施設で実施可能な治療法があれば記載してください。

69. 放射線治療医の勤務（放射線治療を行う施設は◎）

放射線治療を行うことが可能な施設に関しては、放射線治療専門医が 1 名以上勤務していることは参加の条件です。常勤や非常勤といった勤務形態は問いません。氏名の公開はしませんが、勤務実態を確認する場合があります。

70-71. 化学療法の専門医の勤務（化学療法を行う施設は◎）

化学療法を行うことが可能な施設に関しては、常勤の日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、もしくは日本小児血液・がん学会、小児血液・がん専門医が 1 名以上在籍していることが参加の条件です。氏名の公開はしませんが、勤務実態を確認する場合があります。

72. ○日本眼腫瘍学会へ所属している医師の人数一公開情報

日本眼腫瘍学会に所属している医師の人数を記載してください。

73-90. ○他施設との連携に関する記載一公開情報

該当疾患について連携して診断や治療にあたっている場合は、その主たる連携先施設を記載してください。記載内容は事務局で確認し、施設名表記を統一するなど、適宜修正させていただきます。

記載例：（自施設では行っていないが）ガンマナイフ治療は提携先の〇〇病院で実施しています。

91. ○その他備考欄（200字以内）一公開情報

該当疾患についての自施設での診療状況などで特記すべきことがある場合は、記載してください。記載内容は事務局で確認し、施設名表記を統一するなど、適宜修正させていただきます。

92-96. 本情報収集における記入内容に関する問い合わせ先（非公開）

ご記入内容に関する問い合わせ先について、所属部署、氏名、電話番号、E-mail アドレスをご記入ください。これらの情報は非公開となりますが、今後の事務局からの問い合わせのために使わせていただきます。

別紙 1

<院内がん登録における眼腫瘍の症例数>

今回の眼腫瘍専門施設プログラムへの参加希望がありました施設には、眼腫瘍の各種件数について、国立がん研究センターに集積された院内がん登録から算定し、各施設に提供いたします。各施設でもご確認ください。(貴施設で計算される場合には以下の通りのコードで計算ください)

症例数のカウントに含まれる眼腫瘍

眼内腫瘍： 網膜芽細胞腫、ぶどう膜悪性黒色腫、眼内リンパ腫

角結膜腫瘍： 結膜悪性リンパ腫、扁平上皮がん、結膜悪性黒色腫

眼窩腫瘍： 眼窩悪性リンパ腫、涙腺がん*1

眼瞼腫瘍： 眼瞼がん*2

*1： 涙腺がんは、腺様嚢胞がん、腺がん、多形腺腫源がんなどを含む

*2： 眼瞼がんは、基底細胞がん、脂腺がん、扁平上皮がんなどを含む

症例数の計数は以下の通りとします。

症例区分：

診断のみ、初回治療実施例、初回治療後受診例を含むが、「その他」を除外
(2015年度以前は「8」を除外。2016年度以降は「80」を除外。)

部位コード：

①眼内→ C69.2, C69.3, C69.4

②角結膜→ C69.0, C69.1, :

③眼窩→ C69.5, C69.6

④眼瞼→ C44.1

組織コード：

⑤網膜芽細胞腫→ 9510,9511,9512,9513

⑥悪性黒色腫→ 8720,8721,8730,8742,8743,8745,8770,8772,8773,8774

⑦リンパ腫→

9590,9591,9599,9659,9670,9671,9673,9680,9684,9687,9689,9690,9691,9695,9698,
9699,9700,9702,9708,9709,9714,9718,9719,9727,9728,9731,9734,9751,9754

⑧扁平上皮がん・上皮内がん→

8051,8052,8070,8071,8072,8076,8077,8078,8081,8083,8084

計算方法：

院内がん登録のデータを使って

網膜芽細胞腫 = ① and ⑤

ぶどう膜悪性黒色腫 = ① and ⑥

眼内リンパ腫 = ① and ⑦

結膜悪性リンパ腫 = ② and ⑦

結膜扁平上皮がん = ② and ⑧

結膜悪性黒色腫 = ② and ⑥

眼窩悪性リンパ腫 = ③ and ⑦

涙腺がん = C69.5 and (not ⑦)

眼瞼がん = ④

を集計する。